

2017年10月25日

「RICOH Unified Communication System Advanced」を新発売 ～異なる機器や環境でも接続できるテレビ会議システムをご提供～

株式会社リコー(社長執行役員:山下良則)は、テレビ会議システム「RICOH Unified Communication System(以下、RICOH UCS)」の新製品として、異なる機器や環境でも接続できる仮想会議室タイプの「RICOH Unified Communication System Advanced」を10月27日から発売いたします。

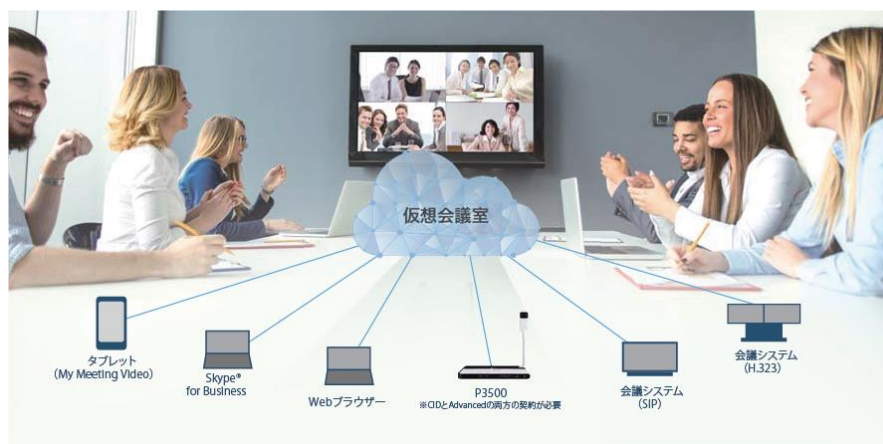
RICOH UCS シリーズは、「いつでも・どこでも、だれでも・だれとでも」*1 をコンセプトに、2011年の事業参入以来、さまざまな製品をご提供してまいりました。従来の製品は、RICOH UCS 専用のコンタクトIDを持っているユーザー同士での接続によるテレビ会議の場をご提供してまいりましたが、新製品は異なる機器や環境からでも簡単に接続できるクラウド上の仮想会議室をご提供するものです。

クラウド上に仮想会議室を設けることで、必要な時に必要なメンバーが集まることができます。同時に50接続まで可能で、専用のIDを持っていなくてもゲスト招待により、参加することができます。また、さまざまな機器からの相互接続が可能で、リコー製のテレビ会議システムはもちろん、他社製の機器からでも仮想会議室に接続することができます*2。さらに、テレビ会議システムの環境がなくてもWebブラウザやスマートデバイスから参加することもできます*2。会議の管理者は、ユーザーの登録・変更・削除や、利用状況を確認することができます。

この度の新製品を導入いただくことで、手軽で快適なビジュアルコミュニケーションを実現し、お客様の業務効率と生産性を向上し、働き方改革の促進に貢献いたします。

*1 インターネット接続環境、電源・出力機器が必要です。

*2 詳しくは販売担当者にご確認下さい。



仮想会議室の運用イメージ

株式会社リコー <http://jp.ricoh.com/>

報道関係のお問い合わせ先 広報室 TEL : 03-6278-5228(直通) E-mail : koho@ricoh.co.jp
お客様のお問い合わせ先 リコーテクニカルコールセンター TEL : 0120-892-111

＜新製品 RICOH Unified Communication System Advanced の主な特徴＞

1. 同時に50接続まで可能な仮想会議室

- ・ 必要な時に必要なメンバーが集まることができるクラウド上の仮想会議室は、同時に50接続まで可能。専用のアカウントを持っていなくてもゲスト招待により参加が可能なので、頻度の少ない相手先との会議や、社内外をつなぐ会議に最適です。

2. 異なる環境からでも簡単に会議参加が可能

- ・ さまざまな環境や機器からの相互接続が可能。リコーのテレビ会議システム「RICOH Unified Communication System P3500」はもちろん、他社製の機器やマイクロソフト社のSkype® for Businessなどからも仮想会議室へ接続ができる*1ので、既存システムの有効活用も可能です。
 - ・ テレビ会議システムの環境がなくても、Webブラウザやスマートデバイスからの参加も可能*1です。
- *1 詳しくは販売担当者にご確認下さい。

3. 管理者画面でユーザー管理や利用状況を確認

- ・ 会議の管理者の方は、管理者画面からユーザーの登録・変更・削除や、利用状況を確認することができます。

4. 会議をライブ配信/録画で共有*2

- ・ 会議の様態をライブで配信/録画することが可能です。
- *2 事前に外部ストリーミングサービスとの契約および連携設定が必要です。

5. 30日間の無料トライアルをご提供*3

- ・ 導入前に30日間サービスを無料でお試しいただけます。
- *3 詳細およびお申込については販売担当者にご確認下さい。

＜新製品 RICOH Unified Communication System Advanced の価格＞

■基本サービス料金メニュー（仮想会議室）

仮想会議室メニュー		価格(税別)	備考
手数料	初期登録手数料	50,000円	仮想会議室の利用開始のための登録手数料です。 この費用は 1ユーザー単位に必要です。
月額料金	シングルフラットM20	20,000円	1～9 仮想会議室購入時の1室あたりの月額サービス利用料
	シングルフラットM14	14,000円	10～49 仮想会議室購入時の1室あたりの月額サービス利用料
	シングルフラットM12	12,000円	50～99 仮想会議室購入時の1室あたりの月額サービス利用料
	シングルフラットM10	10,000円	100～499 仮想会議室購入時の1室あたりの月額サービス利用料
	シングルフラットM8	8,000円	500～999 仮想会議室購入時の1室あたりの月額サービス利用料
	シングルフラットM6	6,000円	1000～4999 仮想会議室購入時の1室あたりの月額サービス利用料
年額料金 (1年間)	シングルフラットY200	200,000円	1～9 仮想会議室購入時の1室あたりの年額サービス利用料
	シングルフラットY140	140,000円	10～49 仮想会議室購入時の1室あたりの年額サービス利用料
	シングルフラットY120	120,000円	50～99 仮想会議室購入時の1室あたりの年額サービス利用料
	シングルフラットY100	100,000円	100～499 仮想会議室購入時の1室あたりの年額サービス利用料
	シングルフラットY80	80,000円	500～999 仮想会議室購入時の1室あたりの年額サービス利用料
	シングルフラットY60	60,000円	1000～4999 仮想会議室購入時の1室あたりの年額サービス利用料

■オプション料金メニュー（Domain Hosting）

Domain Hosting メニュー		価格(税別)	備考
手数料	初期登録手数料	50,000円	Domain Hosting のための登録手数料です。 この費用は 1ユーザー単位に必要です。
月額料金	シングルフラットM12	12,000円	1 Domain Hosting あたりの月額サービス利用料
年額料金	シングルフラットY120	120,000円	1 Domain Hosting あたりの年額サービス利用料

■オプション料金メニュー（Endpoint Subscriptions）

Endpoint Subscriptions メニュー		価格(税別)	備考
手数料	初期登録手数料	50,000円	Endpoint Subscriptions のための登録手数料です。 この費用は 1ユーザー単位に必要です。
月額料金	シングルフラットM12	12,000円	1 Endpoint Subscriptions あたりの月額サービス利用料
年額料金	シングルフラットY120	120,000円	1 Endpoint Subscriptions あたりの年額サービス利用料

※Skype の名称、これに関連する商標は、Skype またはその関連事業者の商標です。

｜ リコーグループについて ｜

リコーグループは、オフィス向け画像機器を中心とした製品とサービス・ソリューション、プロダクションプリンティング、産業用製品、デジタルカメラなどを世界約200の国と地域で提供しています(2017年3月期リコーグループ連結売上は2兆288億円)。

創業以来80年以上にわたり、高い技術力、際立った顧客サービスの提供と、持続可能な社会の実現にむけて積極的な取り組みを行っています。

EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES - 人々の“はたらく“をよりスマートに。リコーグループは、さまざまなワークプレイスの変革をテクノロジーとサービスのイノベーションでお客様とともに実現します。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。 <http://jp.ricoh.com/>